

地域連携で非行防止を

集団暴行 事件受け 与那原で町民大会

読んで
広がる
NIE

【与那原】頻発する少年による集団暴行

事件を受け、「与那原町『子どもを守る』町民大会」(同町青少年健全育



成町民会議主催)が24日、同町の与那原中学校で開かれた。同中の生徒ら約600人が参加した写真。

与那原警察署の地下一彦署長は「学校、自治会、PTAなど関係団体と連携して、今後も非行防止に取り組んでいきたい」と話した。

同中学生徒会長の西銘なぎささん(3年)は、相次ぐ暴行事件について「暴行した人は『人の痛みが分からないのか』と不思議に思った」と話し「私たちは

地域の人たちの愛情を受け、思いやりの気持ちなどが身に付いた。事件を防止するには周りの大人が愛情を持って接することが必要」と周囲の協力の必要性を訴えた。

大会の最後には「命の尊さを育み、思いやりのある青少年を育成する」「『いじめ』『暴力』『虐待』のない明るい社会をみんなで作る」など八つの宣言文が読み上げられた。